

令和5年度1年生大会、高松商優勝！

西岡歯科通信



次世代の高校野球球児による1年生の県大会で、高松商が優勝しました。おめでとうございます！

高校野球を勝ち抜くためには2020年から始まった投手に対する球数制限が出来て以来、安定した投手を複数人擁したチームが優位に立つわけで、高松商の今年の1年生は行梅・末包・高橋の3名の投手陣が各々の責

任を果たした結果だと感じています。今大会の準決勝戦の様な継投が今後の大きな大会でも出ればいいかもです。また、野手の中にもきりと光る逸材がいます。確かに、浅野君の様な一発を打てずとも、ここという時に打てる選手が揃っているところがいいですね。今のいい流れを切らさず、来年さらなる成長を心から期待します。

西岡歯科医院

〒760-0062 香川県高松市塩上町 3丁目14番17号

☎087-831-1987



高松商OB最新情報

〇プロ野球

《2023 JERA クライマックスシリーズ セ・パファイナルステージ》



末包昇大選手らの活躍によりクライマックスシリーズのファイナルステージに広島が進出。そのファイナルステージでも先発出場を果たしました。第2戦での失策が惜しまれるところですね。広島は本塁打を打てる選手がいなくて、1軍レギュラー獲得のチャンス。応援します。

歯科の豆知識

唾液からわかる口腔ケアの重要性

お口の潤き具合はご自身では案外分かりにくいものです。年齢や性別に関係なく、乾く＝口腔乾燥する＝唾液量が減少することによりいろいろな疾患に繋がります。唾液検査を定期的に確認しましょう。

唾液の動きについて

今回は、唾液の持っている作用についてまとめておきます。それが分れば、何気存在する唾液が私たちの体を守り、生活を豊かにしてくれるのか分かると思いますので、まとめてみました。

〇社会人野球(硬式)

《日本選手権》
開催日時 11月8日から
開催場所 京セラドーム
試合結果

ENEOS、JR四国、JFE西日本が8強入り(ENEOS)

11月16日、九州代表のHonda熊本とベスト4をかけて対戦。6回表、1アウト1・2塁で、4番古寺選手に決勝打となる2塁打を許した。9回に2アウト1塁の場面で植田響介選手が代打に立ち、一発出ればという期待を背負って打席に立ちましたが、惜しくもセンターフライで試合終了となりました。



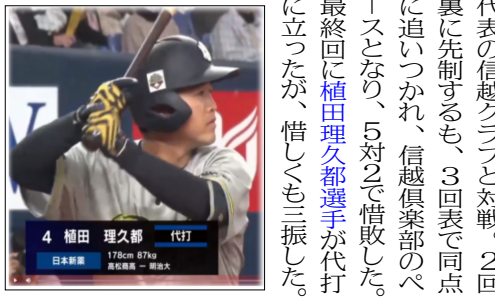
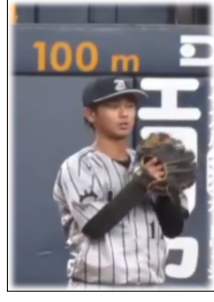
(JR四国)

11月17日、近畿代表の日本生命とベスト4をかけて対戦。JR四国は投手陣が、4人しかいないためか、初戦から3戦連続して近藤孝来投手が先発。日本生命は、巨人からドラフト5位指名された又木鉄平投手が、6回で降板するまでノーヒット・ノーランの完璧なピッチングを披露。その間、4回表、日本生命が2点先制。続く5回にさらに5点をとり、試合を決定づけた。JR四国は7回にやつと吉岡がヒットを打ち、9回の最終回に1点返したが、結局8対1。美濃晃成内野手が9番セカンドでスタメン出場しましたが、3打席ともに結果を出せず、不完全燃焼で終わったようです。



(JFE西日本)

11月17日、近畿代表の大坂ガスとベスト4をかけて対戦。大阪ガスの大宮投手が安定した投球をし、JFE西日本の4回表に1点返した後、1死満塁のチャンスに加点できなかったことが響き、4対1となりました。尚、香川卓摩投手は第2回戦、西部ガスとの対戦で7回のピンチにワンポイントで投げました。



(日本新薬)

近畿代表として1回戦は北信越代表の信越クラブと対戦。2回裏に先制するも、3回表で同点に追いつかれ、信越倶楽部のベースとなり、5対2で惜敗した。最終的に植田理久都選手が代打に立ったが、惜しくも三振した。

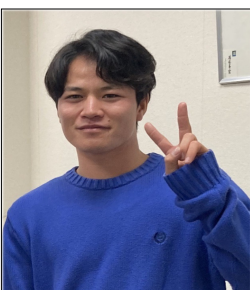


浅野君情報

12月8日、東京都内の球団事務所で契約交渉し、30万円増の年俸1230万円で更改したようです。今季の成績は8試合の先発を含む24試合で打率2割5分、1本塁打、2打点でした。一軍での出場機会を得るだけでも大変なのに、うかつな感じがすかね。同期の萩尾君は1200万でアジアWLで大活躍しているようですし、門脇君が3100万にUPしたようですが、焦る事はないと思います。

地域だより

高松商OB最新情報プラスです。米波留君が来られました。大学で大活躍していたことはお伝えしましたが、来春からどうするかとか、話をいろいろ嫁と娘とともにしました。詳細は、今後お伝えするとして、体が一回り大きくなり元気そうな姿を見て頼もしく思える次第です。更なる期待を祈念します。



溶解作用

食べたときに「すっぱい」とか「にが」とかの味覚を促進させるというか、味覚を感じやすくする働きがあります。

潤滑作用

食べて咀嚼した時に食物を上手く混ぜ、呑み込みやすい形にする働きがあります。

粘膜保護・修復作用

唾液で口の中が潤うことにより、粘膜や頬、皮膚などの柔らかい部分を固い食べ物や歯から守りつつ修復する働きがあります。

消炎作用

唾液の成分の中に含まれる酵素により、デンブンを分解して消炎しやすくなります。

洗浄作用

唾液は常からじわじわ出ており食後に

緩衝作用

すぐに歯みがきをしなくても、ある程度の口腔内の衛生状態を保てるのは、食べ残しなどを洗い流し、口腔内をきれいに保つ働きがあるからです。

抗菌作用

空中に飛び交う病原菌(例えば、風邪とかインフルエンザやコロナウイルス感染症)などの病原微生物に抵抗する働きがあります。

歯の再石灰化作用

何気に食べたり、飲んだりすると、食べ物飲み物のほとんどが酸性のもので、すから口腔内のPHバランスは酸性に傾きますが、それをもとの状態に押し戻してくれる働きです。PHを出るだけ弱アルカリ性に保つことにより、細菌の繁殖を抑えることができるのです。

緩衝作用によりPHバランスを出来るだけ中性から弱アルカリに保つことにより歯の石灰化を防ぐので、虫歯予防に役立ちます。

この作用については、高松市歯科医師会のもぐもぐだより43号に出来るだけ寄り添うようにまとめた次第です。

では、その唾液が実際に円滑に出ているのか、ちょっと心配という方もいらっしゃると思います。ご高齢の方の中には、多種多様な投薬を受けている患者様の場合は「年齢から出なくても仕方がない」という考えもできますが、ほとんどの方の場合、本来の唾液(量)が出ていないのが現状です。

今回は、その唾液の「量」はどのくらい出るのが好ましいか、出ない場合に起こる病気についてまとめていきたいと思います。